

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 58
2014 冬

JCMU設立25周年に添えて

滋賀県知事 三日月 大造

JCMUが、この度、記念すべき設立25周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

滋賀県とミシガン州は、琵琶湖と五大湖という湖が縁となり、1968年に姉妹友好協定を締結しました。以来、親善使節団の相互派遣や、高校生の交換交流など様々な事業を行ってまいりました。こういった活発な姉妹友好交流を重ねる中、1989年に、滋賀県とミシガン州の姉妹友好提携20周年を記念して、彦根の琵琶湖畔の地に、このミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）を設立しました。

以来、JCMUは、両県州の友好協定をベースに、滋賀県とミシガン州の州立大学連合による共同運営のもと、両県州の友好交流の中核を担う施設として、のべ7,000人以上の若者や市民が、それぞれの言語や文化を学び、交流を行うとともに、滋賀県の国際交流の拠点として、外国文化や風習を学ぶための公開講座や地域との交流イベント等を開催してまいりました。

こういった中、このたびJCMUが、25周年という節目の年を迎えられたことは、滋賀県とミシガン州の長きにわたる友好の絆とともに、施設の設立、発展のために力を尽くしてくださった多くの先人の方々のご尽力の賜物であり、心から謝意を申し上げます。

近年では、県民の皆様からのニーズに応じて、彦根のキャンパスのみでなく、草津や栗東など県内各地でサテライト講座も開講しています。また、

JCMUの宿舎において、アメリカと日本の学生がルームメイトになり共同生活を行うという「国内留学」プログラムも好評を頂いております。

社会や経済のグローバル化が進展する中で、滋賀県においても、外国の人々との相互理解や国際感覚を持った若者の育成は欠かせません。

このような社会情勢の中、日米の若者や市民が、ともに学び相互理解を深めることのできる施設が、この滋賀で長きにわたり運営されていることを誇りに感じておりますし、今後JCMUが果たすべき役割はますます大きくなってくると思われます。

今回、一つの節目となる設立25周年を迎えましたが、常に社会や時代の要請にこたえて、JCMUの新たな歴史をつくるべく、滋賀県とミシガン州の関係者が手を携えて、次なる25年=50周年に向かって取り組んでまいります。

最後になりましたが設立当初よりご協力を頂いております彦根市の皆様、JCMUの交流を支えてくださっている地域の皆様および商工会議所の皆様、学生同士の交流の機会を与えてくださっている大学関係の皆様、学生の実習等でご協力いただいております企業や個人の皆様、そして日々の運営にご尽力いただいておりますJCMUスタッフの皆様、その他JCMUを支えていただいております全ての皆様に心から感謝申し上げます。



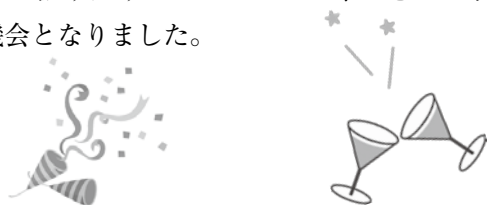
JCMU25周年式典

JCMUは、滋賀県と米国ミシガン州の姉妹提携20周年を記念し、滋賀県とミシガン州の姉妹友好関係に寄与することなどを目的として1989年に設立されました。

今年は、設立25周年にあたる年であることから、去る11月21日（金）に25周年の記念式典が盛大に開催されました。

記念式典には、ご挨拶をいただいた滋賀県知事三日月大造様、大阪・神戸米国総領事アレン・グリーンバーグ様をはじめ多くの来賓の方々、ミシガンサイドから来日いただいた方々、JCMUの留学生・教官・スタッフなど、100名以上に記念式典およびその後のティーパーティーに参加いただきました。

今回の記念式典は、JCMUが歩んできたこれまでの25年の歩みを振り返り、これからの25年に思いを馳せる絶好の機会となりました。



地域との積極的な交流活動

JCMUでは、異文化理解の促進、多文化共生の地域づくりのため、県民の皆様と留学生との様々な交流会を開催しています。また、高校生英語スピーチコンテストの開催、中高生の総合学習の支援、滋賀県国際協会が主催する公開講座への協力など、地域に開かれた様々な活動を通じて地域の国際化に貢献しています。今回は、今年度開催した5つの交流活動を紹介します。

●彦根・ミシガン国際交流会

彦根商工会議所とJCMUは、地域経済の国際化への対応と相互の人材育成を大きな目標とする産学連携協



6月12日の交流会

定を今年2月28日に締結しました。

この協定に基づく具体的な取り組みの一つとして、商工会議所の会員等の市民と、JCMUの留学生・教官・スタッフとの交流会を、6月12日（木）と9月26日（金）に開催しました。

JCMU宿舎棟ロビーで、彦根とミシガンの紹介、ライブコンサート、郷土芸能の観賞、立食による懇親会など様々な企画で楽しい時を過ごしました。

●「しが・まなび・発見」への出展

「しが・まなび・発見」は、様々な団体の参画のもとで、子どもたちに体験や学びの場を提供する滋賀県・滋賀県教育委員会主催の事業で、大津会場と米原会場で開催されています。

JCMUは昨年に引き続き、8月6日（水）に文化産業交流会館で開催されたこのイベントに出展し、ミシガンや滋賀県とミシガンの交流などを紹介したパネル、ミシガン州の州立大学の旗などを展示しました。

2名のJCMU留学生と1名のインターンシップの大

学院生が、子ども達に展示内容を日本語で説明したり、クイズに答えた子どもたちにJCMUのロゴの入ったボールペンと面白消しゴムを贈呈したりして、楽しく交流しました。



●JCMU留学生といっしょに 親子ハイキング&オープンキャンパス

4回目となる今回は9月23日(火・祝)に開催し、県内各地から8組20名の親子に参加いただきました。

保護者の方々にはJCMUの紹介、子ども達には子ども英語教室の体験レッスンを受けていただいた後、16名のJCMU留学生が合流し、バスで長浜に向かいました。

長浜では、親子と留学生が、長浜浪漫パスポートを活用した黒壁周辺の施設の散策を行い、協力団体の滋賀大学教育学部国際交流サークルCISが用意したスタンプラリーにチャレンジしました。

台風の接近を心配しましたが、幸い天気にも恵まれ、和気あいあいととても楽しく有意義な異文化交流体験イベントとなりました。



●子ども向けハロウィンパーティ

10月31日(金)に開催した恒例のハロウィンパーティには、2歳から小学校4年生までの子ども80人の募集に対して、250人以上の応募をいただき、抽選で参加者を選ばせていただきました。

学期も残すところ1カ月あまりとなり、日本語スピーチや学期末試験の準備等で忙しいなかでしたが、フェイスペインティング、歌と踊り、迷路、福笑い、ペットボトルボウリングなど、様々な楽しいイベントをJCMU留学生自身が企画、準備、運営し、子どもたちと楽しいひとときを過ごしました。



●ミシガンカップ 高校生英語スピーチコンテスト

11月14日(金)に開催した24回目となる今年度のスピーチコンテストには、県内各地からの精鋭33名の高校生が参加し、様々なテーマについて流暢な英語でスピーチしました。コンテストでは、JCMUのマンディ英語プログラム教官が審査員の一人を務め、また、原田学生支援コーディネーターが、「My Experience of Studying Abroad」をタイトルとする英語での講演を行いました。

スピーチコンテストでは、第1位から第6位までの7名(今年度6位が2名)が表彰され、第1位に輝いた立命館守山高校3年伊藤優花梨さんと第2位の虎姫高校2年蓮溪芳仁さんは、12月23日(火)に開催される第12回近畿高等学校英語スピーチコンテストに出場されます。



JCMU英語プログラム 新専任教官のご紹介

JCMUでは、アメリカなどから来日している講師による各種英語講座を実施しています。指導を担当する講師陣は、英語を母国語とするネイティブスピーカーで、日本人への指導経験が豊富であるだけでなく、英語を母国語としない人への教授方法についても、高い専門性を有しています。

この英語講座を担当する専任教官3名が、今年8月に新たに赴任しましたので、ご紹介します。

David Wybenga デイビッド・ワイベンガ

ミシガン州グランドラピッズ出身。大学では教育学を専攻し、ウェスタンミシガン大学にて社会学の修士課程を修了。アメリカでは教師として、またカウンセラーとして幅広い年齢層の人と携わる。来日してから英語教師として子どもから大人までを担当し、約20年の経歴を持つ。映画や音楽、芸術を楽しむのと同時に、動物福祉にも関心を持っている。2009年4月から2014年8月までJCMU英語プログラム非常勤教官を務めた。TESOL保有。



Dr. Carl "C.J." Boland

カール "シージェイ"・ボーランド

英語、デジタルメディア、文化学等多岐の領域にわたる教授経験をもつ"C.J."はイギリス出身。大学で心理学、大学院では音楽テクノロジーを専攻。音響工学、音楽制作やIT分野でも豊かな経験を持ち、2013年にはフィルムサウンドデザイン博士号取得。様々な経歴を背景に2009年より家族と彦根市内に在住し、滋賀県立大学、長浜バイオ大学、民間の英語学校で英語教官を務めた。



Mandy Klein マンディ・クライン

2008年の夏にJCMU留学生として日本語を学習するため来日。帰国後はミシガン州立大学にて学生アドバイザーとして現地のJCMU事務所に勤める。大学卒業後、JETプログラムの一員として長野県の高校で3年間英語教師として従事。英語を教えるだけでなく、自らも日本語学習にも勤しみ、料理、キャンプ、スノーボードも楽しむアウトドア派。TESOL保有。



JCMU英語プログラム

2015冬季受講生募集!!

【教室】

ミシガン日本センター (彦根市松原町)
ディリバ彦根 (彦根市大東町)
草津市立市民交流プラザ (草津市野路)

【クラス】

- 集中コース (1クラス50分・週14クラス)
- 一般コース (1クラス60分・週1クラス～)
イングリッシュ・ステップス
イングリッシュ・スルー・メディア
ソーシャル・イングリッシュ・イン・アクション
- TOEIC®対策講座
- 中学生講座
- 帰国子女クラス (小学校1～6年生)
- こども英語教室
ファースト・イングリッシュ (1歳半～)
Pre-K (年少～)
Kids 1 (年中～)
Kids 2 (小1～)
Kids 3 (小1～)

※受講時間数によってはセンター付属寮の宿泊施設に入寮し、アメリカからの留学生とルームメイトになることも可能です。



2015春JCMU国内留学

ミシガン州立大学連合日本センターでは、「日本の中のアメリカ」としての環境を生かし、アメリカからの留学生との共同生活を体験しながら、集中的な英語学習を行う「JCMU国内留学」を開催します。

【開催予定日】

2015年2月9日(月)～2月20日(金)
2015年2月23日(月)～3月6日(金)
2015年3月9日(月)～3月20日(金)

詳しくは当センターHPまたはパンフレットをご覧ください。

